



北村 あや子 区政ニュース

三河島駅北地区再開発の計画変更 建設費高騰で期間延長、税投入も増加

12月4日の建設環境委員会で、三河島駅前北地区再開発の計画変更について報告がありました。この再開発は、すでに組合も設立されて、権利変換の個別面談も始まっています。

地権者で反対はゼロと言っていますが、いざ権利変換になると「移転先が見つからない」「相続などで権利変換の同意が取れない」などいろいろと問題が残っているようです。

今回の計画変更は、建築費の高騰で総事業費が約3割も増え、その結果、税金投入も3割以上増える事になります。

そのため、タワーマンション一戸当たりの販売価格も上昇します。現状1億円以上になることが予想されます。



三河島駅北地区再開発総事業費

	2023年2月事業計画	2024年12月事業計画
総事業費	457億1000万円	639億7300万円
補助金	146億 700万円	211億 100万円
保留床処分金	311億 300万円	428億7200万円

タワマン乱立でも地域に恩恵乏しく

共同通信の調査で、再開発タワマンに公費1兆円。東京 23 区では国内外の富裕層が購入・地元住民・地域には恩恵乏しくと報じています(11月17日配信)。

荒川区の再開発もその一つです。国や東京都、荒川区もデベロッパー(土地や街の開発事業者)主導の利益第一・後先考えない街づくりから抜け出して、公的住宅建設や家賃補助、防災震災対策最優先の街づくりに大きく変えていく必要があります。荒川区は税金投入の原資は国からの支出で区的一般財源からの持ち出しがないからと再開発事業をすすめています、大事な血税を使うことには変わりありません。ご意見をお寄せください。

非課税世帯に加え均等割りのみ世帯にも 3 万円

物価高騰対策として、賃上げなどでカバーしきれない部分を給付金で支払うとして、住民税非課税世帯及び均等割のみ世帯に対して、1世帯当たり 3 万円、18 才以下の子どもがいる場合には1人あたり 2 万円

を加算して給付することになりました。

この給付金関連の国の補正予算は審議中ですが、(12月10日現在)詳細はまだハッキリしませんが、区は来年1月中にはお知らせを発送し、2月には給付金が届くようにしたいと考えています。

	対象世帯数	加算人数	給付額及び事務費	事務費不足分
非課税世帯	30,000世帯	子ども2,400人	9億4,800万円	4,200万円 (区の持ち出し)
均等割世帯	5,000世帯	子ども 216人	1億8,800万円	

【問合せ】福祉推進課管理係給付金担当 電話番号:03-3802-3111(代表)

発行:日本共産党議員団 TEL:3802-4627 FAX:3806-9246 e-mail:arajcp@tcn-catv.ne.jp

<北村あや子事務所>

荒川区西尾久2-4-8-1階

TEL&FAX:3894-6668



重度障害者グループホームを区の責任で増やすこと

尾久生活実習所(重度障害者生活介護施設)の保護者会から11月6日に議会に提出された陳情では『毎年、荒川区にグループホームの増設をお願いしているが進捗が見られません。区が主導して用地を確保する施策が必要です』と書かれています。

切実な願いに耳を傾け、本気の取組が必要です。

荒川区は重度グループホームが不足している認識はあるものの「施設整備費補助による開設の促進」で依然として民間頼みです。

常時車いす対応の身体障害の方もスクラムあらかわで空きがあれば入所は可能ですが3年の期限付きです。車いす対応のグループホームは十分な施設面



積と常時介護の人の配置が必要ですから、補助金を出しても民間対応ではなかなか進みません。

長い間前提としてきた家族介護から脱却し、必要な支援を受けながら障害者が希望する場でくらせるよう、本来であれば18才を過ぎ地域の中で一人暮らしをしたい自立したいという本人の当たり前の希望が叶う社会にしなければなりません。

町屋8丁目都営住宅隣接の都有地がずっとそのままです。都の現状も把握し公有地を活用し、公的責任で計画的に増やすことを区議会本会議で求めました。

～現在、土地所有者と用地取得に向けた具体的な協議をすすめている。早期開設に向けて取り組んでいく～との答弁がありました。

子ども・若者総合計画策定のためのニーズ調査

荒川区では区内に住む18歳未満の子供を持つ保護者を対象とした子育てサービスの利用状況、希望サービスおよび生活実態などに係る調査、こども本人及び39歳以下の若者を対象とした生活実態に係る調査を実施しました。全体の有効回収率は46.4%となりました。

保護者のアンケートで自由記載は745人の方から1426件の回答。区が行う調査でこれほど沢山の意見要望が書き込まれたのは珍しいのではないのでしょうか。



保育園幼稚園等の利用のしやすさ・学用品、制服等を含む教育費用の負担軽減・経済的支援・保育教育の質の向上・公園整備など様々な意見が寄せられています。

見が寄せられています。

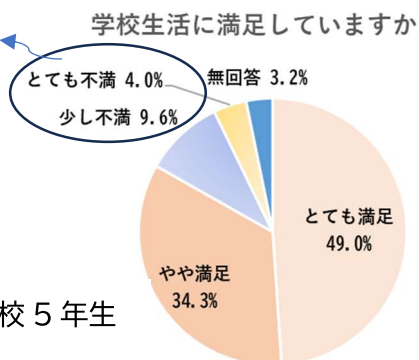
18才から39才若者アンケートでは225人、387件の意見がありました。計画作成にしっかり生かす必要があると思います。



パブリックコメント実施中～12月27日まで

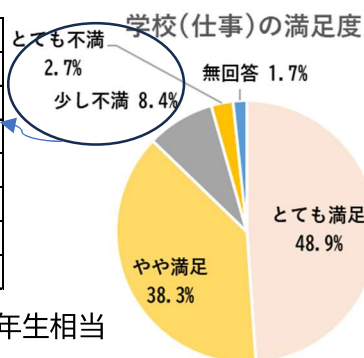
荒川区子ども・若者総合計画(第3期荒川区子ども・子育て支援計画)(素案)へのパブリックコメントが12月27日(金)まで行われています。QRコードからご意見をどうぞ。

先生との関係が良くない	29.4%
勉強がわからない・つまらない	26.5%
友達と一緒にいても面白くない	26.5%
何をしても面倒だ	20.6%
学校の決まりが厳しい	17.6%
友達がない	8.8%
その他	44.1%



小学校5年生

勉強(仕事)がわからない・つまらない	45.7%
学校(職場)のきまりが厳しい	30.4%
何をしても面倒だ	30.4%
友達(上司)との人間関係がよくない	30.4%
友達がない	13.0%
友達(職場の人)と一緒にいても面白くない	13.0%
部(クラブ)活動がいやだ	10.9%
その他	17.4%



中学校2年生、高校2年生相当



日時: 2025年1月17日(金) 18:30～20:00 **ご予約ください**

会場: 北村あや子事務所(西尾久2-4-8) TEL&FAX: 03-3894-6668

年内の定例法律相談は終了しました。お急ぎの方には弁護士事務所をご紹介しますのでご連絡ください。

**法律
相談**
HOURITSU SUDAN